

小児・障がい児(者)リハビリテーション専門研修(岐阜県委託事業) 報告書

日時:令和5年2月11日(土)13:25~17:15

12日(日)8:55~12:15

場所:Web研修会(Zoomを使用)

テーマ:岐阜県における重症心身障がい児者の現状と在宅医療支援施策について

講師:向井俊貴様(岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課(障がい児者医療推進係))

テーマ:小児の呼吸生理と病態

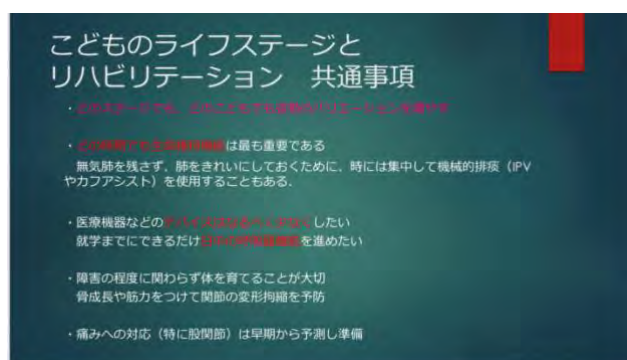
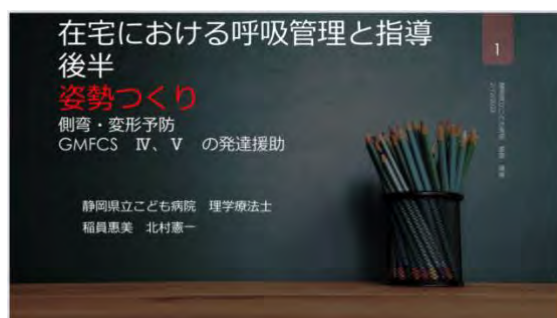
講師:北村憲一先生(静岡県立こども病院)

テーマ:小児のポジショニング 新生児から重症児まで

小児のバギー車いす類の選定と工夫・側彎に対する装具治療・褥瘡予防

講師:稲員恵美先生(静岡県立こども病院)

参加者:91人(スタッフ含む)



今年度も Web にて開催する運びとなり、参加者は 91 名と非常に多く、小児領域への関心、ニーズの高まりを感じられます。

向井様からは岐阜県における小児・障がい児者の現状や取り組みについてお話していただきました。岐阜県における医療的ケア児は増加傾向にあり、医療・福祉人材の育成・確保に向けた取り組みが行われています。この研修もその一環であり、小児・障がい児者に携わる人材が増え、質が高まることを期待しています。

北村先生からは基礎的な呼吸生理の知識から側臥位や腹臥位のポジショニング、急性期理学療法として聴診での評価の仕方、徒手排痰方法や機械的排痰機器について講義して頂きました。

稲員先生からは今回は在宅に近い視点で側彎や股関節脱臼がもたらす呼吸や運動機能への影響について、児の潜在能力を最大限引き出すためにどのような治療が必要かなど症例を通し、わかりやすく講義して頂きました。臨床場面で使用している硬質ウレタンでの腹臥位装置や座位保持装置の作成方法や福祉用具の選定方法は普段臨床でも悩むことが多くとても参考になりました。たくさんの資料と臨床の貴重な写真や映像をたくさん提供していただき、大変わかりやすい講義でアンケート結果においても 75%の方が非常に満足と回答頂きました。

近年、重症心身障がい児者のリハビリテーションは専門病院だけでなく、一般病院や訪問リハビリテーション等、多くのセラピストが小児に関わる機会が増えています。こういった研修をきっかけに各機関が連携し、お子さんとご家族により良い支援をしていけるとよいと思います。

こども福祉部 弓岡美咲